

## 【亀山市教育委員会】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指しては、1人1台端末などのICT環境を活用し、全ての児童生徒に個別最適な学びと協働的な学びを提供することが重要としている。GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用によって、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す必要がある。

まず、個別最適な学びの実現に向けては、AIの活用が考えられる。AIを活用し、個々の学習履歴や習熟度を分析することで、一人ひとりのレベルに合わせた教材や問題を提供することが可能となる。理解度に応じた学習により、得意な分野はより深めたり、苦手分野は復習を重点的に学習したりすることができるようになり、より効率的な学習ができる。また、多様な学習コンテンツが展開されるようになっている。従来の画一的なカリキュラムにとらわれず、児童生徒の興味関心に基づいた学習コンテンツを提供することで、学習意欲を高め、主体的な学びを促進することも重要となる。学習内容に加えて、学習方法も多様なコンテンツが展開されている。動画やVR/ARなどを活用することで、視覚的にわかりやすく、より深い学びへと繋げることもできる。

次に、協働的な学びの実現に向けては、個別最適な学びが孤立した学びに陥らないように注視することが重要となる。最近の少子化傾向に伴い、本市においても学校の小規模化、複式学級化が進んできている。このような状況の中、オンラインコミュニケーションツールを活用し、他校や遠隔地にいる児童生徒ともリアルタイムで学び合いを行うことができ、多様な視点から問題解決に取り組むことができる環境の充実も急務である。さらに、クラウド上の共同編集ツールの活用を通して、複数の児童生徒が同時に一つの資料を作成・編集することができ、意見交換をしながら学習を進めることも大切である。

このように、この2つの視点に十分留意して、これからの時代を生きていくための基礎となる力を身につけた子どもの育成を目指し、1人1台端末を始めとするICT環境によって、誰一人取り残すことのない学びの実現を目指すものである。

#### 2. GIGA第1期の総括

平成28年より、タブレット端末の整備を開始し、令和2年度に全学年へのタブレット端末及び通信ネットワーク等の整備を行い、1人1台端末の運用を開始した。そのため、新型コロナウイルスの影響による臨時休校時においても、1

人1台端末とオンラインツールを活用して学びを継続することができた。また、ICT支援員も配置し、教職員及び児童生徒のサポートを実施することができた。

課題としては、まず教員によって情報技術を効果的に活用するための知識や技能に差が見られたことが挙げられる。すべての教員が、児童生徒に渡された端末の操作に熟練しているとは限らないため、授業でスムーズに活用できないケースが見られた。単に端末を操作するだけでなく、ICTを効果的に授業に活用するための指導力やノウハウが不足している教員もいた。

次に、既存の学習内容との連携面での難しさも見られた。既存のカリキュラムと、ICTを活用した学習との整合性を図ることが難しいケースやICTを活用した学習成果をどのように評価するのか、明確な基準が確立されていないケース等が見られた点も課題である。

また、教育データの利活用については、デジタルドリルの使用状況から一定の活用や効果は見受けられたが、1人1台端末の活用による児童生徒の心や体調の変化の早期発見等、多様な活用については、今後の課題である。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期での課題を踏まえ、これからのICT環境によって目指す学びの姿を実現するために、教員のスキルアップが必要となる。

ICTを活用することで、児童生徒の学習状況をリアルタイムで把握し、個別の指導や相談に対応することができる。また、AIによる学習分析結果を参考に、より効果的な指導計画を立てることもできる。このように、1人1台端末を最大限に生かすためにも、教員のICTスキルはさらに向上させる必要がある。そのために、教育委員会主催の研修会や必要な学校へのICT活用支援を行う必要がある。

教育データの効果的な利活用に向けては、国が示す教育データ利活用ロードマップを踏まえ、1人1台端末の活用による児童生徒の心や体調の変化の早期発見、不登校や外国人児童生徒、特別な支援が必要な児童生徒への支援強化や、教育データを可視化するダッシュボードの検討等、データ利活用の環境を整えることで、個別最適な学びと協働的な学びの充実や学びの保障に取り組んでいく。

端末の整備・更新により、これまでの課題の解決を図りつつ、引き続き児童生徒1人1台端末のよりレベルの高い環境を維持していきたい。